

## 『コントラバスリサイタルの開催』

### 《概要》

コントラバスの独奏および、ピアノとのデュオによるコンサートを実施します。

(開催日については未定／2022年6月末～7月初旬または9月中を予定)

演奏する曲目については、古くから親しまれてきた耳なじみのあるクラシック曲から、作曲者が現在も存命で、演奏技法が挑戦的・実験的な“現代音楽”と呼ばれる曲や、その他にもジャズの要素を含む曲など、時代やジャンルを問わず広く取り上げる予定です。

様々な楽曲を積極的に演奏することにより、一般的に浸透している「クラシック音楽の演奏会＝敷居が高い」という、ある種の固定観念を払拭したい、という思いがあります。

### 《目的・達成したい成果》

一般的に、単体で取り上げられる場が少ないコントラバスの演奏機会を増やすこと。さらに、SNSを積極的に活用したり、クラシック音楽と関わりの少ない人々が集まる場所での宣伝活動を実施することによって、コントラバスの魅力や可能性について、より多くの人々に伝えたいです。

そしてこのような活動は、クラシック業界自体に新しい客層、ターゲットを取り組むことにもつながると考えています。

また、リサイタルという大きな催しにおいて、自分で企画・運営まで実施することは、演奏技術の研鑽だけでなく、計画・企画力の向上も期待できます。

### 《将来の夢・今後の展望》

音楽家としての最終的な目的は、「オーケストラに所属するコントラバス奏者として活動する」ことです。今回のような演奏会を実施することによって、自身の研鑽を積むことはもちろん、夢の達成への一つの過程と考えています。また、オーケストラでの活動だけにとどまらず、教育活動（現在は、ホワイトハンドコーラス NIPPON に携わる。また、教育免許も保有）にも積極的に参加し、コントラバスの魅力を広く発信し、演奏人口の増加や、クラシック音楽業界の発展に努めていきたいと考えています。

### 《プロフィール》

伊藤 翔匠 (コントラバス奏者)

東京音楽大学卒業 コントラバスを西山真二、吉田秀の各氏に師事。

Klaus Stoll, Edicson Ruiz, Philipp Stubenrauch らのマスタークラスなどに参加。在学中、オーディションによりバイエルン放送交響楽団附設バイエルン州青少年オーケストラのドイツ、イタリア演奏旅行参加者に抜擢される。現在は、オーケストラでの演奏を中心に、古楽から現代音楽まで、ジャンルにとらわれない様々な活動を行っている。近年では、東京都の芸術文化活動支援事業「アートにエールを!東京プロジェクト」における映像作品「ジョン・ケージ作曲《4分33秒》」(<https://youtu.be/I3hKaZFALno>)が好評を博す。また、一般社団法人エル・システムジャパン主催 相馬子どもオーケストラ講師を経て、中学から大学までの部活動における指導や、一般社団法人 El Sistema Connect 主催 ホワイトハンドコーラス NIPPON の活動に携わるなど、教育分野における活動にも積極的に取り組んでいる。